

<p style="text-align: center;">海外研修Ⅱ (Overseas Training Ⅱ)</p>	<p style="text-align: center;">2年・通年・1単位・選択 5学科共通・担当 安田 智之</p>	
<p>〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)</p>		
<p>〔講義の目的〕 グローバル化が叫ばれている現在、海外の教育機関への語学留学、短期・長期の海外研修、国際交流プログラムに対する学生の積極的な参加を促すとともに、国際的な視野の涵養、異文化に対する意識の向上、学習への意欲を高めることを目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕 本校が実施する国際交流プログラムの他、他機関主催の海外派遣プログラムなどにおいて、研修先で用意された研修内容を体験することになる。 なお、研修先においては各自が目標を設定し、積極的な態度で臨む必要がある。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 一定の条件を満たしたプログラムでなければ認定されないため、事前に単位認定申請書を必ず提出し、学校の認定を受けること。海外での研修となるため、高専を代表して参加しているという意識はもちろんのこと、規律を守り、安全にも留意しなければならない。必要な保険等にも加入しておくこと。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化に対する理解を深めるとともに、他者・他国の立場に立ってその価値観の違いを認め、自国の文化についても紹介ができる。 ・英語をはじめとする、母語以外の外国語を使って、一定のコミュニケーションを図ることができる。 		
<p>〔評価方法〕 研修内容が明記された要項等と、研修等終了報告書の内容をもとに評価する。 なお評価実施の条件として、研修等修了証明書の提出が必要である。 認定に必要な条件を満たしていれば、「合格」の評価とする。</p>		
<p>〔教科書〕 なし 〔補助教材・参考書〕 本校で実施している、国際交流等の報告会発表が参考となる。</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕 これまでの英語の学習内容だけでなく、歴史や文化に関する幅広い知識が求められる。 研修先の参加者と積極的に交流し、工学・技術の分野だけでなく、文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	1. 実施時期 夏季休業期間中もしくは学校に認められた期間 2. 実施期間 5日間以上および合計30時間以上 3. 研修の内容 研修先のプログラムによる (研修先の文化に触れ、日本語以外の言語による交流がなされること) 4. 研修先 学校が認めた研修先(国外) 5. スケジュール 事前に「単位認定申請・認定書」(所定の様式)を学生課教務係で受け取る。 研修終了後、速やかに 「研修等終了報告書」(様式任意) 「プログラム・要項」等、研修内容等が記された書類 「プログラム修了証書」 を提出する。 なお、必要に応じ、研修報告会等を実施することがある。		
第2週			
第3週			
第4週			
第5週			
第6週			
第7週			
第8週			
第9週			
第10週			
第11週			
第12週			
第13週			
第14週			
第15週			
期末試験・テスト返却・学力補充期間			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)